

製品名: LEF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00027**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	LEF1
別名	LEF1; Lymphoid enhancer-binding factor 1; LEF-1; T cell-specific transcription factor 1-alpha; TCF1-alpha
遺伝子 ID	51176
SwissProt ID	Q9UJU2
免疫原	ヒト LEF1 の合成ペプチド

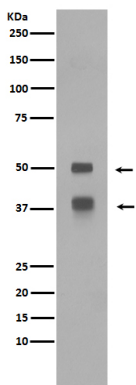
背景

Wnt シグナル伝達経路に関与する。CTNNB1 および EP300 の存在下で標的遺伝子の転写を活性化する。毛細胞の分化および毛包の形態形成に関与する可能性がある。TLE1、TLE2、TLE3、および TLE4 は、LEF1 および CTNNB1 を介した転写活性化を抑制する。T 細胞受容体 α エンハンサーの機能を調節する。DNA に配列特異的に結合する。PIAG は、LEF1 による Wnt 依存性および Wnt 非依存性の活性化の両方に拮抗する（類似性による）。

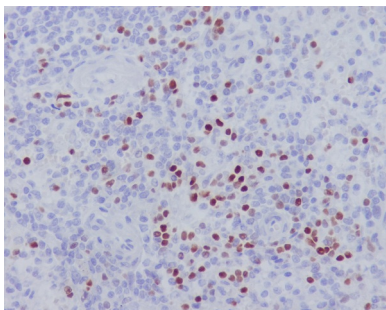
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



LEF1 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の LEF1 のウェスタン ブロット分析。



LEF1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。